

# 宮城県感染症発生動向調査情報

令和05年06月22日発行

2023.6.12 ~ 2023.6.18 - 第24週 -

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾 病	保 健 所					仙 台 市	宮 城 県 (含 む 仙 台 市)	
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計
水痘	1 0.25	1 0.10		1 0.17		5 0.19	8 0.15	114
流行性耳下腺炎			2 0.33		1 0.50	1 0.04	4 0.07	45
感染性胃腸炎	48 12.00	30 3.00	13 2.17	13 2.17	1 0.50	147 5.44	252 4.58	8,302
手足口病		6 0.60	34 5.67			12 0.44	52 0.95	114
伝染性紅斑							0 0.00	23
突発性発しん	1 0.25		1 0.17	1 0.17		9 0.33	12 0.22	392
ヘルパンギーナ	24 6.00	30 3.00	141 23.50	8 1.33	1 0.50	235 8.70	439 7.98	710
インフルエンザ	4 0.57	31 1.94		14 1.40	1 0.25	5 0.11	55 0.60	8,244
新型コロナウイルス感染症	21 3.00	67 4.19	79 7.90	38 3.80	6 1.50	234 5.32	445 4.89	2,501 ※
咽頭結膜熱		4 0.40	3 0.50	2 0.33		34 1.26	43 0.78	315
流行性角結膜炎						5 0.83	5 0.42	65
急性出血性結膜炎							0 0.00	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8 2.00	4 0.40	9 1.50	6 1.00	2 1.00	22 0.81	51 0.93	521
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0.00	2
無菌性髄膜炎							0 0.00	1
マイコプラズマ肺炎							0 0.00	13
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0
RSウイルス感染症	19 4.75	25 2.50	15 2.50	3 0.50		141 5.22	203 3.69	1,007
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	0
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2	4			1		
	川崎病							
	不明発疹症					6		

※ 新型コロナウイルス感染症の累計は第19週からの数値

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

仙南管内 女性1名  
 仙南管内 男性1名  
 石巻管内 男性1名  
 気仙沼管内 女性1名  
 結核(無症状病原体保有者)  
 石巻管内 男性1名、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症

塩釜管内 男性1名(O157)  
 大崎管内 男性1名(O157)

4類感染症: E型肝炎

大崎管内 男性1名(第23週)  
 レジオネラ症  
 塩釜管内 男性2名  
 大崎管内 男性1名  
 石巻管内 男性2名  
 仙台管内 男性2名、女性1名

5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

仙台管内 男性1名  
 梅毒  
 仙台管内 男性2名

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

### 【定点把握対象疾患】

【手足口病】

大崎管内で警報レベルを超えました。

【ヘルパンギーナ】

仙南、仙台管内で警報レベルを超えました。  
 大崎管内で警報レベルを継続中です。

### 【病原体検出情報】

#### ～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より

仙南管内 第23週採取分 ヒアストロウイルス1型 5件  
 仙南管内 第23週採取分 ノロウイルスGⅡ群 1件  
 塩釜管内 第23週採取分 アデノウイルス41型 3件

ヘルパンギーナ患者より

大崎管内 第24週採取分 コクサッキーウイルスA4型 5件

インフルエンザ患者より

塩釜管内 第24週採取分 インフルエンザAH3 2件

#### ～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定		中 間 報 告
	第21週採取分 (5.22～5.28)	第22週採取分 (5.29～6.4)	第23週採取分 (6.5～6.11)
インフルエンザウイルスA(H3)	1件	0件	0件
RSウイルス	0件	2件	1件
バランフルエンザ4型	0件	0件	1件

### 【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】

解析結果はありません。

## 4. 今週のコメント

### 【手足口病・ヘルパンギーナ】

例年夏季に流行がみられる小児の急性ウイルス性の感染症で、いわゆる夏かぜの代表的なものです。今週、手足口病の患者数が大崎管内で警報レベルを超えました。またヘルパンギーナについては前週から患者数が増加しており、今週は仙南、仙台管内で警報レベルを超えたほか、大崎管内で警報レベルを継続中です。感染経路は接触感染を含む糞口感染と飛沫感染です。家庭内のほか、学校・保育園等の集団生活での感染に特に注意し、予防対策に努めてください。

### 【レジオネラ症】

県内では今週8例の報告がありました。レジオネラ属菌は土壌や環境水中に生育する菌で、エアロゾルを発生させる人口環境(冷却塔、噴水、ジャグジー等)や循環水を利用した風呂などの増加が、感染の機会を増やす一因でないかと考えられています。50歳代以上に発症者が多く、農作業での感染が疑われる例があることから、高齢者は特に注意が必要で、免疫力を落とさないよう日頃から体調管理に努めるとともに、肺炎またはインフルエンザ様の症状が長引く場合は、必ず医療機関を受診してください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)  
 電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362  
 HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課  
 電話 022-211-2632(新型コロナウイルス感染症に関するお問い合わせ)

宮城県定点週報告対象疾病の推移

